

地域連携・PBL

福岡工業大学 × 新宮町・那珂川市

新宮町・那珂川市 小学校 ICT 体験授業 PBL システムマネジメント学科 井口教授ゼミナール

包括的連携協定を締結している新宮町で 2017 年から 7 年にわたり実施している「小学校での ICT 体験授業」。今年は新たな学びの機会をいただきました。今年度、新たに実施したのは那珂川市立岩戸北小学校。新宮町での活動に興味を持っていたいた那珂川市の教育委員会のご協力により、2023 年度は 2 つの小学校と連携し、それぞれの小学校で ICT 体験授業を実施しました。

【岩戸北小学校（那珂川市） キックオフ：12月14日（木）】

岩戸北小学校は全校生徒約 700 名で市内では中規模校。今回は 5 年 1 組のみなさんと一緒にドッジボールで交流を深めました。その後、日常的にどのように ICT が活用されているのか授業を見学させていただきました。算数の授業では Chromebook が活用されており、児童達の ICT スキルの高さに驚きました。その後実施した模擬授業では多くの先生にご参加いただき、子供達への言葉遣い説明の分かりやすさなど、多くの改善提案を頂戴しました。



【立花小学校（新宮町）ICT 授業：2月19日（月）】

6 年生 14 名を対象に「人間とコンピュータのお互いの役割を知ろう」を学習目標に二つの講義を行いました。児童達の身近なテーマを用いた体験授業を通して情報技術の有用性や特性および効果的な活用についても理解が深まったようでした。授業後は大学の学食でランチ体験と施設見学を行いました。



【岩戸北小学校 ICT 体験授業：2月22日（木）】

学習目標は「人間とコンピュータのお互いの役割を知ろう」。遠足のお菓子を選ぶという身近なテーマで学生たちが作成したプログラミングを通して情報技術に触れつつ、人間の工夫でコンピュータをより有効に活用できるヒントを知つてもらえたのではないでしょうか。授業後は教頭先生や教育委員会の方から、模擬授業からの改善点に関するコメントやこれから社会に出ていく学生達へ社会人としてのエールのお言葉をいただきました。

